

平成28年度 第2回 学校協議会 記録

○日 時 平成28年11月22日(火) 15:30～17:00

○場 所 本校 高等部棟2階 図書室

○参加者 学校協議会委員 守口市教育センター センター長 吉川 弘美 様
立命館大学 産業社会学科 教授 青山 芳文 様
門真市公共職業安定所 専門援助部門 統括職業指導官
野志 秀憲 様
守口支援学校 学校医 森口 久子 様
本校PTA会長 古谷万里子 様

学校協議会事務局 郡司校長 佐野教頭 紙野教頭

室田小学部主事 山本中学部主事 石田高等部主事

各分掌部長各分掌部長(進路は副主事代行)

医療的ケア安全委員長

○ご欠席 学校協議会委員 社会福祉法人 一粒のからし種 グレース工房理事長
福田 章男 様

○内 容

- 1 学校長挨拶(校長)
- 2 学校協議会委員自己紹介・会長挨拶、事務局紹介
- 3 今年度の学校経営計画の進捗状況について

・校長より報告

- ① 個別の教育支援計画
- ② 安全安心な学校づくり
- ③ 系統的なキャリア教育
- ④ 専門性の向上

第1回 学校協議会で上がった意見を受けて2点について特に説明。

一つ目の中間目標の②の安全安心な学校づくりでは、アナフィラキシーについての研修を行なった。また緊急連絡メールの導入を進め、放課後等デイの送迎における駐車場の安全対策、個人情報の漏洩への防止対策の徹底等を進めた。

二つ目の④の専門性の向上及び若手教員の育成も含めた校内研修の充実では様々な研修を行い、指導に活かせるよう進めた。若手の教員対象の研修にも力を入れた。

・各分掌より報告
教務部) →進路指導部) →研究部) →健康安全部) →医療的ケア) →児童生徒指導部)
→通学バス部) →支援部) →自立活動部) →情報部)

4 授業力・自己肯定感向上プロジェクト「JJup」の進捗状況について (事務局)

5 授業アンケートの結果について (事務局)

6 学校教育自己診断について (事務局)

7 質疑応答・提言 (学校協議会委員)

○研修成果の共有について

・研修成果の還元はどのように行なっているのか⇒連絡掲示板にデータを載せ共有並びに、資料報告の回覧確認などを行っている。

・PDCA サイクルを早く回すためにも 5 分、10 分でもよいので職員会議等で情報共有の場を持てると効果的である。検討いただきたい。

○医療的ケア体制の充実 (ヒヤリハットの報告について)

・ヒヤリハットは医ケア以外でもあるのか、出してもらうに当たっての工夫は行っているか⇒学校業務全般にわたってヒヤリとしたことがあれば出すようにしている。学期末に医療的ケアのヒヤリハット、学年末にそれ以外のヒヤリハットについて一覧にして全職員に報告している。

○職員の業務の適正化について (長時間労働の解消)

・指導力 UP・新任の先生への研修など観点を広げる研修も必要。

○自己肯定感の向上の取り組み。

・自己肯定感は低学年から向上させることが大切。学校教育の本髄。支援教育の枠組みの中で理解することが難しかったり、自己肯定感を向上させることが困難だったりする。キーワードを作り、わかりやすく取り組んでいた素晴らしい。

・自己肯定感はわかって動けるから高まる。それと同時に、授業研究の中で教員が自己肯定感をどれだけ上げられるかが大切。

○研修・研究等学校の取り組みの外部発信について

・JJup は教員間だけの取り組みか。保護者にも発信した方がよい。

○授業アンケートについて

・質問項目を変えると結果も大きく変わってくるのではないか。

8 第 3 回学校協議会の予定について

平成 29 年 2 月中旬予定で調整